

1年間の梅毒の報告数が 4年連続過去最多

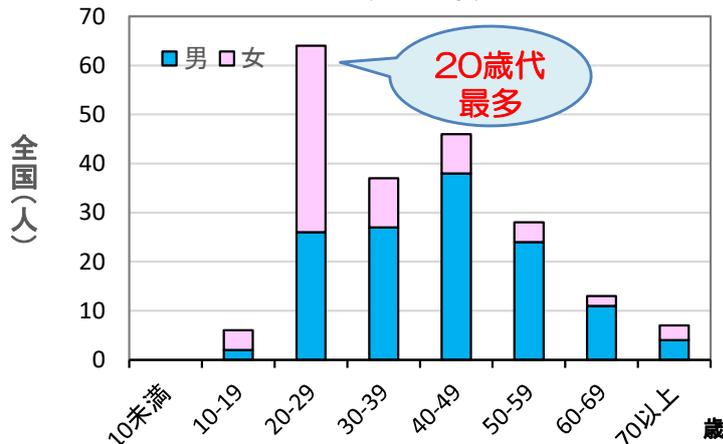


- 群馬県では2024年に201件の報告がありました。(2023年は192件/年)
これは感染症法に基づく調査が始まった1999年以降、**最多**の報告数です。
- 2024年の群馬県の報告は男性が全体の約66%を占めており、20歳代では男女ともに多く報告されています。

梅毒の報告数
(2012年～2024年)

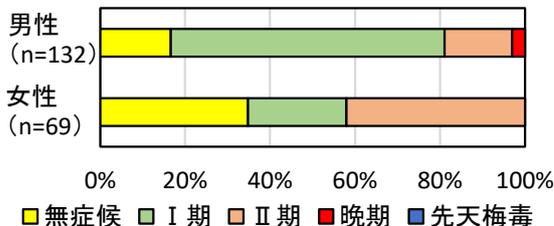


報告数 (人) 性別・年齢別報告数(群馬県)
(2024年)



◆ 県内の報告のうち23%は無症候の届出でした

届出時病型割合(群馬県2024年)



症状があらわれないために、知らないうちにパートナーに感染させてしまうことがあります。

※病期により様々な症状が出ます。

- 第Ⅰ期：口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこり、潰瘍を生じる
- 第Ⅱ期：全身に赤い斑点ができる
- 晩期：心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じる

◆ 予防や対策は？

- 不特定多数の相手との性行為は感染する（または感染させる）リスクが高くなるので、避けましょう。
- コンドームの適切な使用により感染リスクを減らすことができます。

★詳しい情報はこちら（厚生労働省ホームページ：梅毒に関するQ&A）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html



症状があらわれた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

保健所では性感染症の相談・検査を**無料・匿名**で行っています
保健所（県保健福祉事務所、市保健所）までお問合せください



◆ 県内の保健所では梅毒の即日検査を行っています。検査のWeb予約も可能です。

◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>